

2016年12月期 第2四半期

(2016年1月1日～2016年6月30日)

決算説明会

2016年7月28日
株式会社電通国際情報サービス

当社は2015年度より決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。このため、本資料における当第2四半期の分析につきましては、前年の同6ヶ月（2015年1月1日～2015年6月30日）業績との比較により記載しております。

2016年12月期第2四半期決算概況

(1)2016年12月期 第2四半期 連結業績

(単位：百万円)

	2016年12月期 第2四半期累計	前年同期（2015年1-6月）との比較			期初予想（2016/2/9発表）との比較		
		前年同期	増減額	増減率(%)	予想	増減額	増減率(%)
売上高	39,578	40,176	▲598	▲1.5	40,179	▲601	▲1.5
売上総利益	13,026	11,907	+1,119	+9.4	-	-	-
売上総利益率	32.9%	29.6%	+3.3p	-	-	-	-
販売費及び一般管理費	9,685	9,238	+447	+4.8	-	-	-
営業利益	3,341	2,668	+673	+25.2	2,675	+666	+24.9
営業利益率	8.4%	6.6%	+1.8p	-	6.7%	+1.7p	-
経常利益	3,524	3,118	+406	+13.0	2,752	+772	+28.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,527	1,075	+1,452	+135.1	1,794	+733	+40.9

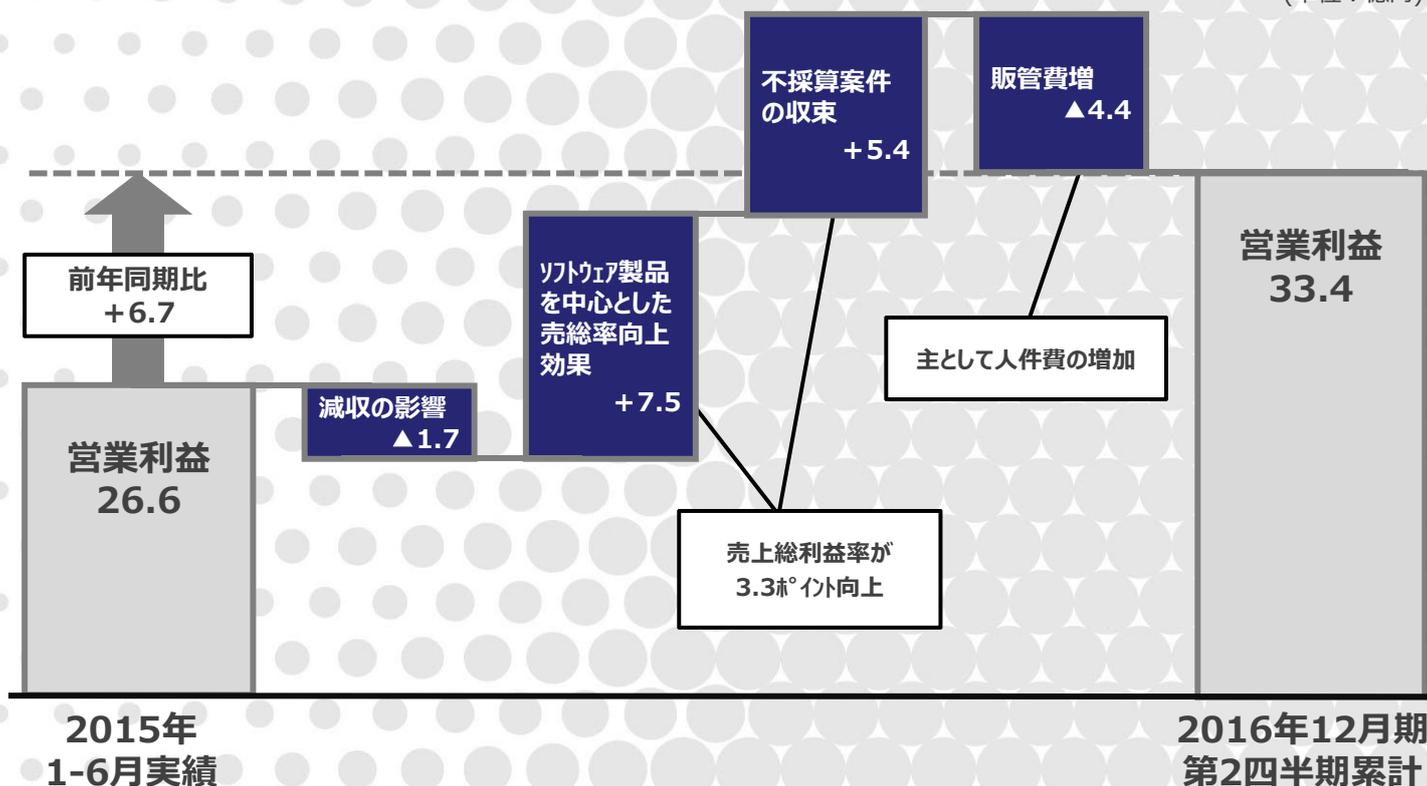
【前年同期比】 減収ではあるものの、売上総利益率の向上(+3.3p)により増益

【期初予想比】 減収ではあるものの、売上総利益率の改善(+1.0p)ならびに販管費未消化により増益

【中間配当】 期初予想通り1株当たり21円実施（前年同期比7円増配 前期末比3円増配）

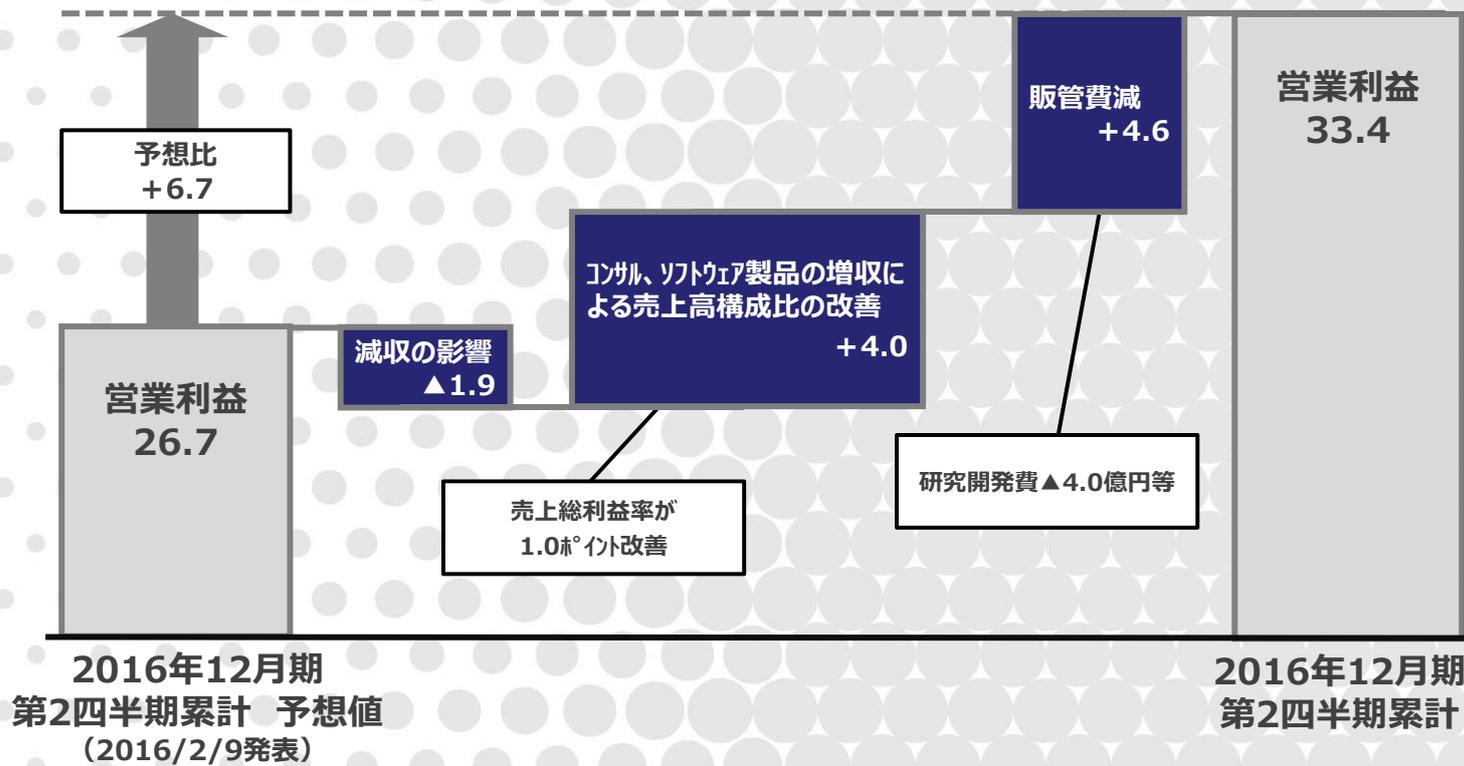
(2)-1 営業利益の増減要因【前年同期比】

(単位：億円)



(2)-2 営業利益の増減要因【期初予想比】

(単位：億円)



- 5 -

(3)事業セグメント別売上高および営業利益

(単位：百万円)

事業セグメント	2016年12月期 第2四半期累計	前年同期 (2015年1-6月) との比較			期初予想 (2016/2/9発表) との比較			
		前年同期	増減額	増減率(%)	予想	増減額	増減率(%)	
金融ソリューション	売上高	10,994	11,824	▲830	▲7.0	11,815	▲821	▲6.9
	営業利益	924	1,309	▲385	▲29.4	-	-	-
	(%)	8.4%	11.1%	▲2.7p	-	-	-	-
ビジネスソリューション	売上高	8,035	7,560	+475	+6.3	7,374	+661	+9.0
	営業利益	861	▲303	+1,164	-	-	-	-
	(%)	10.7%	▲4.0%	+14.7p	-	-	-	-
エンジニアリングソリューション	売上高	12,224	11,761	+463	+3.9	12,207	+17	+0.1
	営業利益	485	322	+163	+50.6	-	-	-
	(%)	4.0%	2.7%	+1.3p	-	-	-	-
コミュニケーションIT	売上高	8,323	9,030	▲707	▲7.8	8,781	▲458	▲5.2
	営業利益	1,070	1,340	▲270	▲20.1	-	-	-
	(%)	12.9%	14.8%	▲1.9p	-	-	-	-

金融 次世代融資ソリューション「BANK・R」は大きく伸ばしたものの、カババンク向けの受託システム開発が減少

ビジネス 連結会計ソリューション「STRAVIS」、人事管理ソリューション「POSITIVE」、「Oracle-EBS」等が拡大

エンジニアリング ハードウェアおよび構想設計ソリューション「iQUAVIS」が自動車業界向けを中心に拡大

コミュニケーションIT 電通との協業ビジネスは拡大したものの、電通グループ向け基幹システム分野が減少

- 6 -

(4)サービス品目別 連結売上高

(単位：百万円)

サービス品目	2016年12月期 第2四半期累計	前年同期（2015年1-6月）との比較			期初予想（2016/2/9発表）との比較		
		前年同期	増減額	増減率(%)	予想	増減額	増減率(%)
コンサルティングサービス	2,668	2,077	+591	+28.5	2,187	+481	+22.0
受託システム開発	10,396	11,893	▲1,497	▲12.6	11,380	▲984	▲8.6
ソフトウェア製品	7,437	6,677	+760	+11.4	6,827	+610	+8.9
ソフトウェア商品	12,436	12,369	+67	+0.5	12,074	+362	+3.0
アウトソーシング・運用保守	3,793	3,843	▲50	▲1.3	3,782	+11	+0.3
情報機器販売その他	2,845	3,314	▲469	▲14.2	3,926	▲1,081	▲27.5

コンサルティング MBDの導入支援や実験・解析業務を対象とするコンサルが自動車業界向けを中心に拡大
受託システム開発 効率的な開発ならびに電通グループ向けが減少
ソフトウェア製品 「BANK・R」「iQUAVIS」「STRAVIS」「POSITIVE」、マーケティングプラットフォーム「iPLAss」が拡大
ソフトウェア商品 「Oracle-EBS」等の会計分野向けが堅調に推移し前年同期並み
アウトソーシング 電通グループ向けを中心に前年同期並み
情報機器他 金融業向けならびに電通グループ向けを中心に減収

MBD：Model Based Developmentの略。「モデル」を用いたシミュレーションを活用して、トップダウン型で製品開発を行う手法。

(5)連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2016年 6月30日	2015年 12月31日	対前期末 増減	主な増減要因(対前連結会計年度末)
流動資産	54,276	50,181	+4,095	現金及び現金同等物の増加(+3,751) 前渡金の増加(+2,185) 売上債権の減少(▲1,304) 有価証券の減少(▲700)
固定資産	11,269	12,934	▲1,665	投資有価証券の減少(▲536) ソフトウェアの減少(▲418) 有形固定資産の減少(▲334)
資産合計	65,546	63,115	+2,431	
流動負債	20,461	19,192	+1,269	前受金の増加(+1,958) 仕入債務の増加(+272) 未払費用の減少(▲608) 未払金の減少(▲184)
固定負債	1,728	1,926	▲198	リース債務の減少(▲162)
負債合計	22,190	21,118	+1,072	
純資産合計	43,356	41,997	+1,358	利益剰余金の増加(+1,941) その他の包括利益累計額の減少(▲580)
負債純資産合計	65,546	63,115	+2,431	

(6) 連結キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	2016年1月～ 2016年6月	2015年1月～ 2015年6月	増減	主な増減要因
営業活動による キャッシュ・フロー	4,266	1,709	+2,557	仕入債務の増加 (+1,686) 税金等調整前四半期純利益の増加 (+1,575) 売上債権の減少 (+1,469) 事業構造改善費用の減少 (▲1,265) 受注損失引当金の減少 (▲651)
投資活動による キャッシュ・フロー	929	▲154	+1,083	関係会社株式の売却による収入の増加(+900) 有価証券の償還による収入の増加(+700) 投資有価証券の売却による収入の減少(▲474)
財務活動による キャッシュ・フロー	▲980	▲859	▲121	配当金の支払額の増加(▲130)
現金及び現金同等物に 係る換算差額	▲465	68	▲533	
現金及び現金同等物の 増減額 (▲は減少)	3,751	763	2,988	
現金及び現金同等物の 期首残高	24,230	16,322	7,908	
現金及び現金同等物の 四半期末残高	27,981	17,085	10,896	

- 9 -

(7) 受注高・受注残高

(単位：百万円)

		受注高		受注残高	
		2016年12月期 第2四半期累計	前年同期比 (2015年1-6月) 増減率(%)	2016年12月期 第2四半期末	前年同期比 (2015年6月末) 増減率(%)
合計		22,112	+9.4	9,759	▲3.5
事業セグメント別 内訳	金融ソリューション	9,275	+5.2	3,560	+6.7
	ビジネスソリューション	5,862	+53.5	3,454	+24.2
	エンジニアリングソリューション	2,154	+0.3	584	▲27.8
	コミュニケーションIT	4,819	▲11.4	2,159	▲32.2
サービス品目別 内訳	受託システム開発	13,344	+8.4	6,153	+11.0
	ソフトウェア製品プロダクト開発	4,055	+12.4	1,893	▲30.1
	ソフトウェア商品プロダクト開発	4,712	+9.6	1,713	▲7.9

※ 受注高・受注残高は、当社サービス品目のうち、受託システム開発(保守含む)、ソフトウェア製品およびソフトウェア商品のプロダクト開発(保守含む)のみが対象です。コンサルティングサービス、ソフトウェア製品・商品のライセンス/ライセンス保守、アウトソーシング・運用保守サービス、情報機器等は含まれておりません。

- 10 -

◆ 2016年12月期 連結業績予想

- ✓ 下期に向けて景気の不透明感が増していることから、通期業績予想につきましては、2016年2月9日に発表した予想から変更はございません。

(単位：百万円)

<参考値>

	通期	前年同期（2015年1-12月）との比較			通期業績予想に対する上期進捗率
		前年同期	増減額	増減率(%)	
売上高	82,013	81,243	+770	+0.9	48.3%
営業利益	5,700	5,527	+173	+3.1	58.6%
営業利益率	7.0%	6.8%	+0.2p	-	-
経常利益	5,873	6,227	▲354	▲5.7	60.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,871	4,507	▲636	▲14.1	65.3%

◆ セグメント別 連結売上高予想

(単位：百万円)

<参考値>

	通期	前年同期（2015年1-12月）との比較			通期業績予想に対する上期進捗率
		前年同期	増減額	増減率(%)	
金融ソリューション	24,667	24,656	+11	+0.0	44.6%
ビジネスソリューション	15,113	15,534	▲421	▲2.7	53.2%
エンジニアリングソリューション	24,074	23,275	+799	+3.4	50.8%
コミュニケーションIT	18,158	17,777	+381	+2.1	45.8%
合計	82,013	81,243	+770	+0.9	48.3%

◆ サービス品目別 連結売上高予想

(単位：百万円)

<参考値>

	通期	前年同期（2015年1-12月）との比較			通期業績予想に 対する上期進捗率
		前年同期	増減額	増減率(%)	
コンサルティングサービス	4,414	4,969	▲555	▲11.2	60.4%
受託システム開発	24,519	23,796	+723	+3.0	42.4%
ソフトウェア製品	14,237	14,506	▲269	▲1.9	52.2%
ソフトウェア商品	24,422	23,957	+465	+1.9	50.9%
アウトソーシング・ 運用保守サービス	7,873	7,509	+364	+4.8	48.2%
情報機器販売その他	6,546	6,504	+42	+0.6	43.5%
合計	82,013	81,243	+770	+0.9	48.3%

2016年度上期トピックス

金融ソリューション

- ◆ 次世代融資ソリューション「BANK・R」
～売上高前年同期比193%、複数の大手金融機関向けに大型案件推進
- ◆ FinTechの取り組みをさらに活性化
～5回目となる「金融イノベーションビジネスカンファレンスFIBC2016」、ベンチャー21社、300名超参加
～日本初のFinTech産業拠点「Fino Lab」は協賛企業3社、入居企業30社へと成長
～ブロックチェーン技術、指紋認証技術を活用した実証実験を複数推進

ビジネスソリューション

- ◆ 連結会計ソリューション「STRAVIS」
～売上高前年同期比110%、大型案件が上期スタート
- ◆ 人事管理ソリューション「POSITIVE」
～売上高前年同期比102%、大型案件の終了に伴う反動減を吸収
～堅調な受注環境が継続しており、複数の大型案件の商談が進捗

エンジニアリングソリューション

- ◆ 自動車向け売上高 前年同期比106.5%(単体)
～構想設計ソリューション「iQUAVIS」は同139%、複数の自動車OEMで導入本格化
～コンサル子会社ITID、Iステック、ISIDIエンジニアリングがそれぞれ2桁成長
- ◆ 「スマートファクトリー」推進専任組織として「DER推進室」を設立 ※Digital Enterprise Realization
～CADなどの設計情報と工場の実績情報を高度に連携し、生産の最適化を支援

コミュニケーションIT

- ◆ 電通協業ビジネス売上高 前年同期比118% 下記分野が好調に推移
～公共向けに提供しているsalesforce.comを活用したクラウドインテグレーション
～消費財メーカー、教育サービスなどBtoC系企業向けに提供しているデジタルマーケティングサービス
～シンガポールにおけるソーシャルデータ分析サービス、タイ・中国におけるデジタルマーケティングサービス

2016年度上期トピックス

グローバル

- ◆ リース業向け基幹システム「Lamp」～インドネシア現地IT企業と提携し、非日系顧客獲得

IoT/ビッグデータ

- ◆ Industry4.0、インダストリアル・ビッグデータのワークショップを慶應義塾大学と開催～ミシガン工科大学、シシティ大学と連携し、ドイツ、米国に続く3回目の開催をサポート
- ◆ 知的保全ソリューション「IMS」～米プロテクトロニクス社との提携を通じ、電機、建機等、複数の大手企業で案件推進

2020&Beyond

- ◆ 「株式会社瀬戸内ブランドコーポレーション」に参画および出資～地方創生を支援

M&A、投資

- ◆ 先端テクノロジー発掘のため、シリコンバレーのAllMobileFundに出資
- ◆ 「POSITIVE」ビジネス強化目的で販売パートナー「鈴与シワート」へ出資(3.3%)

人材力の強化

- ◆ 優良な「子育てサポート」企業として厚生労働大臣特例認定「プアなけるみんな認定」取得

2016年度下期に向けて

金融ソリューション

金融機関のIT投資は一部の領域で慎重さが見られ始める。一方、FinTechの動きはさらに活発化。案件化を狙う。

ビジネスソリューション

会計・人事のシステム更改の引き合いは依然堅調。実績のあるパッケージへのニーズ高く、さらなる受注を狙う。

エンジニアリングソリューション

製造業のIT投資は円高の影響により弱含み。しかしながら、ものづくり革新、IoT、Industry4.0の投資は依然積極的で、ソリューション強化拡充によりさらなる受注を狙う。

コミュニケーションIT

電通協業の実績が着実に積み上がってきている。7/1設立の電通デジタルはじめ、電通グループとの連携をさらに深める。

主要プレスリリース＜2016年5月～2016年7月＞

- 6/17 建物利用者を快適な空間へと個別誘導するアプリを共同開発
～グランフロント大阪でデジタルサイネージを用いた実証実験を開始～
- 6/22 製造業のデジタルエンタープライズ実現を支援する「DER推進室」を設置
～スマートファクトリー分野に本格参入、IoT時代のものづくり革新を支援～
- 6/23 電子透かしによる偽造薬防止ソリューションの提供を開始
～スイス・アルプビジョン社と提携、“見えない透かし”で容易に真贋判定～
- 6/29 米ウィングスパン社と治験文書管理（eTMF）ソリューションで提携
- 7/11 PTCとiSiD、サービスパーツ管理ソリューション「PTC SPM LIGHT」の提供を開始
～パーツの需要予測と発注計画自動化をクラウドで短期に実現～
- 7/12 製薬企業向け「奨学寄附金申請Webサービス」の提供を開始
～協和発酵キリン、田辺三菱製薬、バイエル薬品が採用～